

SaaS からローカル・データへのアクセス

どこからでも、どこへでも接続する
「お客様環境への接続」編

※この資料は企業セキュリティ水準の技術を必要とします

データセットへ接続するSaaS全般の問題

データ統合システム, データカタログ など
SaaSやクラウドシステムで運用したいけど、アクセスに問題が

データ統合系は利用方法が多様なため、アクセス制約のあるSaaS 導入は困難

お客様にVPC環境構築を強いては導入障壁

制約有SaaS と オンプレの平行運用

クラウドからローカル・データセットに安全に接続できたなら

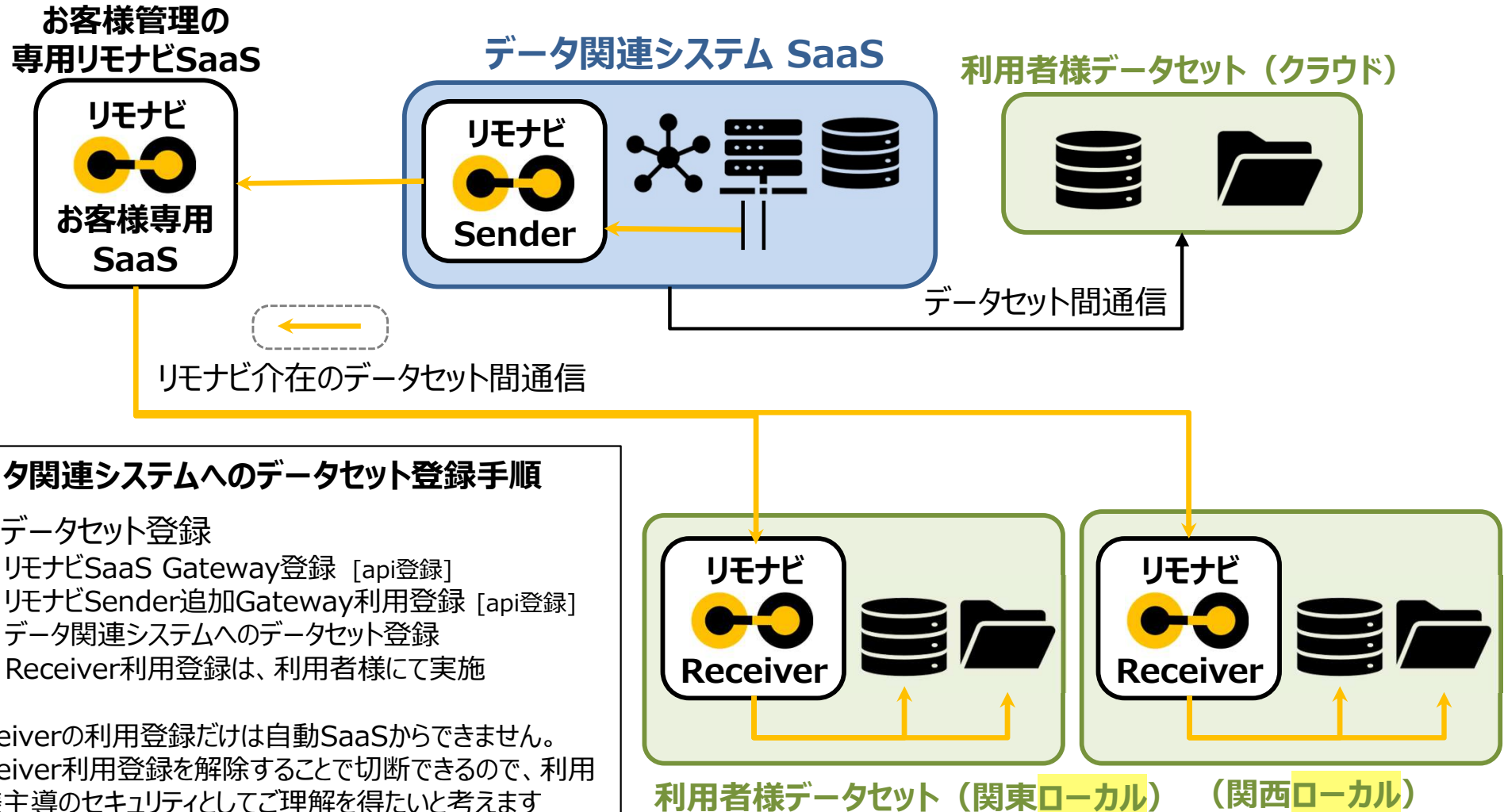
リモナビなら可能です

しかし、そう単純な話ではありません。 ということか？

- ・ リモナビで TCP|UDP 接続する場合、リモナビSaaS への各種設定が必要です。
[リモナビ本体への登録] [Senderの接続登録] [Receiver の接続登録]

SaaSシステム と リモナビの連動について

リモナビはお客様専用のSaaSとして提供することができます
例えば以下のようにローカル・データセット接続をサポートすることができます



データ関連システムへのデータセット登録手順

- ① データセット登録
 - 1) リモナビSaaS Gateway登録 [api登録]
 - 2) リモナビSender追加Gateway利用登録 [api登録]
 - 3) データ関連システムへのデータセット登録
- *) Receiver利用登録は、利用者様にて実施

Receiverの利用登録だけは自動SaaSからできません。
Receiver利用登録を解除することで切断できるので、利用者様主導のセキュリティとしてご理解をいただきたいと考えます

リモナビの対応

- リモナビSaaSは可能な限りカスタマイズにも応じます。
- マルチテナントについて
 - 前構成図の Sender を利用者様毎に設置し、リモナビSaaSは1つでマルチテナントに対応が可能です。運用については調整要。
- その他のご利用法
 - 利用者様データセット接続以外、お客様データシステムのローカル・リソースへの接続にも利用できます。
 - お客様環境での問題や課題の解析にもご利用いただくことも可能です。
 - https://remonavi.com/doc/RemoNavi_doc_for_onpreproduct.pdf